

## 豊田地域の振興に関する意見書 回答

### 第 1 総 論

(1)	市施策の推進に当りましては、ソフト事業(各種給付や行政サービスなど)とハード事業(交通や都市基盤の整備など)の両面において、中野地域と豊田地域の一体的な振興が図られるよう特段の配慮をされたい。
(2)	市民全員が様々な行政情報をいつでも共有することができ、また行政参加ができるよう広報・公聴の充実を図るとともに、市民と同じ目線に立った行政運営に努められたい。
(3)	中野地域、豊田地域ということにかかわらず、市の中心部と周辺部がそれぞれの特徴を生かしながらも、均衡ある発展が図られるよう配慮されたい。

## 第 2 地域資源の活用と産業振興策の推進

(1)	農産物の地産地消の推進及び観光農園・農産加工品の開発等、農業と観光の連携策を促進されたい。
担当課	回 答
農政課	<p>農産物の地産地消の推進として、大豆、そば等の品目でモデル事業を取り組めます。また、信州の伝統野菜ぼたんこしょうを使用した加工品の商品化に向けた試作や勉強会を実施しています。観光農園の開設、農産物直売所の開設等については、市農政課にご相談ください。</p> <p>また、赤坂農村公園・ドッグラン等も地域の資源としてご活用ください。</p>

(2)	農業者の高齢化対策、後継者育成、遊休荒廃農地解消に向けた集落営農組織の育成や法人化等の促進を図られたい。
担当課	回 答
農政課	<p>現在、豊田地域における農業者の高齢化対策、荒廃農地対策として「中山間地域直接支払制度」が協定数で11、受益面積45.6ha 余りで活用されています。</p> <p>この制度は、平成22年度から5年間継続して共同取組活動をするもので、新たに協定していただいたものです。取り組み期間中も市農政課と情報提供・交換していきます。</p> <p>また、中山間地域直接支払制度の対象とならない区域については、現在上今井地区で取り組んでいる農地・水・環境保全向上対策事業を他地区でも積極的に活用していただくため、平成24年度新規採択に向けて説明会を実施したいと考えています。</p> <p>この他、中野市産業公社の農作業支援者紹介事業・機械作業受託作業などの活用を図っていただきたいと考えています。</p> <p>集落営農組織については、古川地籍で新しい営農組織により小麦の栽培を始めました。その他の区域でも組織化を支援していきたいと考えています。</p> <p>後継者育成については、JA北信州みゆき、市農業経営改善支援センター等と連携しながら、市の新規就農者支援事業、北信州農業道場(県事業)を活用していきたいと考えています。</p>

(3)	中山間地域の農林業に対する有害鳥獣被害に対し、電気柵、オリの設置等の対策について、助成範囲の拡大を図られたい。
担当課	回 答
農政課	<p>電気柵設置に対する助成については、国の補助金交付要綱に基づき、原則3戸以上を補助対象としており、これは効率的な設置を行うためのものであることから、農家の皆さんへは、3戸以上となるようお願いしているところです。</p> <p>しかしながら、地理的条件や、周辺園地の状況により、3戸以上となることが困難な場合には、市の単独事業で助成を実施しています。</p> <p>オリの設置等につきましては、狩猟免許が必要となるため、猟友会と協議のうえ、設置することとなります。</p> <p>また、平成23年度から豊田地域と中野地域の駆除協議会が合併することから、オリの増強設置については、より拡充した対応が図られるものと考えております。</p>

### 第3 ふるさとの自然環境の保全

(1)	<p>高野辰之作詞の唱歌のイメージに沿った自然環境の保全と整備は、豊田地域に住む多くの市民の願いであり、特に、千曲川両岸における民間事業については適切な運営指導を行われたい。また、飯綱町における産廃処理施設の建設計画についても地元意見を尊重しながら適切な対応をされたい。</p>
担当課	回 答
環境課	<p>千曲川両岸の産廃処理事業者への指導については、県と連携して対応しています。また、県と市が主導して、毎年3月頃に開催している地元区と関係業者との連絡会は継続していきたいと考えています。</p> <p>飯綱町における産廃処理施設については、建設計画を表明していた2業者及びその他業者を含め、平成21年10月以降表立った動きはありませんが、飯綱町との情報交換を継続するとともに、必要に応じて豊田地域に情報提供を行います。</p> <p>地元住民の意見については、今後とも尊重したいと考えています。</p>

(2)	<p>斑尾山麓に市民が森林浴を楽しめる遊歩道やトレッキングコースの整備を図られたい。</p>
担当課	回 答
商工観光課	<p>平成6～7年度にかけて、生活環境保全林整備事業で整備された斑尾山麓の遊歩道等については、経年劣化等により荒廃している状況であったため、平成22年度緊急雇用創出事業で豊田地域内遊歩道整備を実施しました。</p> <p>平成23年度においても同事業を活用し、引き続き整備を図る予定はありません。</p> <p>危険箇所等の点検見廻りに併せ、遊歩道の草刈り・修繕・倒木の除去等を行い、遊歩道としての機能保全を図ると共に、近接の「斑尾高原体験交流施設」や「信越トレイル」と連携を持たせ、観光資源として有効活用出来るよう検討して参ります。</p>

第 4 魅力ある定住環境と社会資本の整備

(1)	<p>国道、県道などの主要幹線道路(一般国道117号替佐静間バイパス、一般県道三水中野線、一般県道豊田中野線、一般県道牟礼永江線、主要地方道飯山妙高原線、一般県道南永江替佐停車場線)のしゅん工に向けて早期実現を図られたい。</p>
担当課	回 答
道路河川課	<p>国・県道の改良促進については、中野市土木事業要望会・各同盟会等を通じて、事業着手区間の早期完成と未改良区間の改良促進を要望しています。</p> <p>1 中野市土木事業要望会・・・H22.8.27(北信建設事務所)</p> <p>2 長野県議会危機管理建設委員会陳情・・・H22.7.21</p> <p>3 長野県建設部県道関係同盟会合同提言・・・H22.11.15</p> <p>○事業区間等</p> <p>(1) 国道117号バイパス(豊田飯山IC～替佐間) L=3,300m H9～</p> <p>(2) (一) 三水中野線(栗林～上今井橋間) L=420m H17～</p> <p>(3) (一) 豊田中野線(笠倉～壁田間) L=1,810m H19～</p> <p>(4) (一) 牟礼永江線・・・・・・事業着手区間なし</p> <p>(5) (主) 飯山妙高原線(親川原地籍)・・・H20～ L=450m</p> <p>(6) (一) 南永江替佐停車場線・・・・事業着手区間なし</p>

(2)	<p>千曲川の無堤地区(笠倉、上今井)の築堤、裕地区の護岸対策の整備促進及び内水問題の解決に向けて、早期の実現を図られたい。</p>
担当課	回 答
道路河川課	<p>千曲川の無堤地区の築堤・暫定堤防から完成堤防へ嵩上等、千曲川改修の整備促進については、国土交通省へ各同盟会等を通じて要望しています。</p> <p>県管理河川の改修促進と内水排水対策については、長野県へ各同盟会等を通じて要望しています。</p> <p>◎国土交通省(北陸地方整備局・千曲川河川事務所)</p> <p>1 北信地域千曲川等改修促進期成同盟会 提言・・・H22.7.6(千曲川河川事務所)</p> <p>2 北信地域千曲川等改修促進期成同盟会 提言・・・H22.7.12(北陸地方整備局)</p> <p>3 北信地域千曲川等改修促進期成同盟会 提言・・・H22.8.17(国土交通省外)</p> <p>4 替佐地区築堤推進委員会・笠倉地区築堤委員会・上今井区 要望・・・H22.11.19(千曲川河川事務所)</p> <p>◎長野県建設部(北信建設事務所)</p> <p>1 北信地域千曲川等改修促進期成同盟会 提言・・・H22.7.6(建設部)</p> <p>2 中野市県土木事業要望会・・・H22.8.27(北信建設事務所)</p> <p>○千曲川築堤事業区間等〔左岸側〕</p> <p>(1) 上今井(上)築堤事業 L=867m S62～H5暫定堤防完成〔H6.11.28竣工式〕</p> <p>(2) 替佐築堤事業 H10事業採択・着手 H15工事着手 H22事業継続中 H22.2.24 川久保橋しゅん工</p> <p>(3) 笠倉築堤事業 H20調査着手 H22事業採択・工事着手</p>

(3)	豊田地域に若者が定住し、又は市外から人が移り住み、人口の維持が図られるような支援策を検討されたい。
担当課	回 答
政策情報課	<p>豊田地域に限定したものではありませんが、平成19年度より、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会に加入し、移住、交流促進に努めており、この「楽園信州」を通じ、東京から永江地区へ移住された方が、平成21年1月にNPO法人「北信州・ふるさと古民家を住み継ぐ会」を設立し、活動しています。</p> <p>また、ホームページによる情報発信、県外での相談会開催、各種相談会等での広報物設置、パンフレット作成を行っています。</p> <p>※田舎暮らし「楽園信州」推進協議会・・・県、市町村、民間企業が連携して田舎暮らし情報を県内外に発信し、多くの人々を長野県へ誘引し、観光産業の振興と地域の活性化を図ることを目的としている協議会。</p>

(4)	JR替佐駅について、利用の促進、利便性の維持向上(駐車場整備)に配慮されたい。
担当課	回 答
政策情報課	<p>平成20年度に本市の総合的な交通施策の指針となる「中野市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。</p> <p>計画の中でJR飯山線は、広域的公共交通骨格軸として位置付けるものとし、路線バスとの運行形態等を踏まえ、鉄道とバスの結節拠点駅として、「替佐駅」を位置付けています。</p> <p>基幹バス路線の永田線は、全便親川発着とし、平成22年10月には、替佐駅でのJR飯山線との接続を最優先にダイヤの見直しを行いました。</p> <p>ふれあいバスは永田地域、穴田地域、豊田支所で路線バス永田線へ接続させ、JR替佐駅を経由できるよう利用促進に努めています。</p> <p>替佐駅周辺にはすでに民間会社と替佐区による駐車場が整備されていることなどから、市内各駅とのバランスを考慮し、新たな駐車場の整備等は考えていません。</p> <p>また、公共交通への利用促進として、JR利用者が自宅から駅まで自動車を利用し、鉄道に乗換えて目的地まで向うシステム(パークアンドレール)については、JR上今井駅を位置づけ、駐車場整備を図っています。</p>

(5)	豪雨時における土浮地籍の排水路について、排水処理容量が不足しており、災害が頻発する恐れがあるため、総合的な排水対策を検討されたい。
担当課	回 答
道路河川課	<p>周辺地域及び上流域の都市化が進み、流れ込む雨水の量が増加したこと、また、近年のゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨により、短時間に大雨が降る傾向にあることなどにより、既設の水路では排水処理が不足しているものと思われます。</p> <p>このため、市では、本地域の排水処理計画を平成21年度から作成しております。</p> <p>なお、緊急措置として一部の水路改修を平成21年度に実施したところです。</p>

第 5 教育・福祉の地域づくり

(1)	若者の結婚問題について、社会福祉協議会その他協力団体と連携して、多くの若者が結婚に至ることができるような施策を検討し推進されたい。
担当課	回 答
福祉課	<p>結婚問題については、中野市社会福祉協議会や各種団体などと連携しながら事業推進しているところですが、今後とも各種交流イベント等を通じきっかけづくりをする中で、若者に限らず広く相談に応じながら支援し、事業推進をしていきたいと考えています。</p> <p>平成22年4月から12月末までの事業実績</p> <p>1 結婚相談実施 11件(うち豊田地域 1名)</p> <p>2 参加型交流イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドキドキサマーキャンプ(平成22年7月31日～8月1日) よませスキー場 参加者数18名(うち豊田地域 0名)</li> <li>・クリスマスパーティー(平成22年12月4日) Two PaPa Romio 参加者数30名(うち豊田地域 3名)</li> </ul>

(2)	小中学校の再編については、学校が地域における主要施設であり、心の拠り所になっている現状を踏まえ、地域住民の意見を尊重し、均衡ある発展に配慮されたい。
担当課	回 答
学校教育課	<p>教育委員会では、児童生徒にとって好ましい教育環境づくりの観点から、学校規模の適正化について検討しており、平成22年度に市民教育懇話会を開催し、地域の皆様から多くのご意見、ご要望等をお聞きしました。</p> <p>引き続き、懇話会を継続的に開催して参りますので、ご意見等をいただければと思います。</p>